

東京都鳥類繁殖分布調査・伊豆諸島・神津島での調査のようす

＜裏表紙もご覧ください＞

この4月から始まった3回目の「東京都鳥類繁殖分布調査」は、今回、初めて島しょ部の調査が予定されました。調査地は伊豆諸島9つの有人島。当会は神津島の調査が任されました。神津島は東京から直線距離で南西へ178kmの太平洋上の周囲22km・面積約19km²、人口は1885人の島。東京・竹芝桟橋からは高速ジェット船で3時間45分。島の中央には天上山(標高572m)が最高峰としてそびえています。

〔写真〕



写真 多幸湾からみた天上山

調査の第一歩はまず調査員の確保。調査メッシュは23あり、それぞれの調査コースは離れているので少人数では何日もかかります。研究部員を中心に募集したところ4名の方が名乗り出てくれました。5月初め現地を下見。調査コースは事前に決められていますが、実際そこが歩けるのか、障害はないのかを調べる必要があります。その際、頼りにしたのが地元の鳥好きの方々。市販はしていませんが、この島で撮られた152種を載せた『伊豆諸島神津島 野鳥図鑑』というオールカラー・142ページの本があります〔図〕。その本の作製に携わった方々が積極的に協力してくださり、スムーズに作業ができました。その結果、がけ崩れや急峻のため2か所を断念、3か所のコース変更をしました。



図 鳥ガイドブック

伊豆諸島の調査期間は5月中旬～6月。梅雨に入ると調査がしばらくなることがわかっていたので、5月31日(水)～6月1日(木)の2日間で実施しました。30日にジェット船で島に着き、翌31日は晴れ、早朝4時からそれぞれの担当調査地へ。天上山山頂、つづき沢、空港方面へなど5か所19メッシュを終了。3名は午後のジェット船で帰京。翌日の天気予報は、崩れるのは午後とのことでしたが朝目覚めると傘が必要なくらいの雨。調査時間は4時30分～9時の間と決められていますので、6時15分から宿を出発。幸いなことに、7時半ごろには雨が上がり、一部に青空も見える状態に。居残った2名で2か所4メッシュを踏破して、調査は無事完了しました。その間、地元の協力者の方々には、ボランティアで調査区間のマーキング、調査地までの自家用車での送迎などをしていただきました。

末尾ながら、調査員として調査に携われた、御手洗 望・伊藤晴康・田畑伊織・川内桂子、協力者の清水民也・清水末子・桜井基計・石田賢也の皆様へ感謝いたします。〔川内 博〕

【神津島で記録した鳥類リスト】 2017年5月31日～6月1日

カラスバト、ウミウ、ミゾゴイ、ササゴイ、ホトトギス、アマツバメ、メリケンキアシシギ、ウミネコ、トビ、サンコウチョウ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオムシクイ、イイジマムシクイ、メジロ、オオヨシキリ、イソヒヨドリ、キビタキ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロ

〔9目21科25種〕